



日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会

# 2017年度中部北陸地区 床ずれセミナー

理事長

大浦 武彦  
(医療法人社団 廣仁会 褥瘡・創傷治癒研究所)

全国会長

袋 秀平  
(ふくろ皮膚科クリニック)

地区会長

大西 山大  
(介護老人保健施設かなやま)



全  
国  
テ  
ー  
マ

## 『在宅協 10 年—新たな時代に』

### おかげさまで発足 10 年

日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会（旧 日本在宅褥瘡創傷ケア推進協会）が発足して丸 10 年がたちました。在宅での褥瘡・創傷ケアの向上を目指して活動してまいりました。医師や看護師だけでなく、介護ヘルパー、ケアマネジャー、またご利用者やご家族の方も対象とした床ずれセミナーを開催したり、一般の方にも読んでいただけるような在宅向けの褥瘡ガイドである「床ずれケアナビ」を出版しました。「床ずれケアナビ」は「新床ずれケアナビ」、さらに第 3 版へと進化しています。セミナーにしても「床ずれケアナビ」にしても、実践的ですが在宅でのケアに役立てることが出来るような内容です。



日 時

2017年 11月 19日(日)

9:30 ~ 17:05 (受付 9:00 開始)

定 員

200 名

対象者

医師、歯科医師、看護師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、薬剤師、介護支援専門員、介護福祉士、ヘルパー、福祉用具専門相談員、一般、学生、他

参加費

会員 2,000 円  
※お弁当付 非会員 3,000 円  
学生 1,000 円

会 場

名古屋大学大幸キャンパス  
東館 4 階大講義室  
(〒461-8673  
愛知県名古屋市東区大幸南一丁目 1 番 20 号)

※本セミナーは日本褥瘡学会認定講習会(申請中)です。

### 日本の床ずれ対策は飛躍的發展

在宅における床ずれの有病率は、2006 年の 8.32% から 2013 年には 2.61% に低下しています（日本褥瘡学会による）。確かに数字の上では減っていますが、実際に往診をしてみるとまだまだひどい床ずれに出会うこともありますし、床ずれになったらどうしたらよいか途方に暮れてしまったり、十分な医療・介護サービスを受けていない、受け方もわからないケースも見られます。体圧分散寝具をはじめとして、日本の床ずれ対策用具は世界に誇れるレベルになっています。治療や予防の理論も飛躍的に発展してきています。

### 在宅協がチーム作りをサポート

しかしそれらを利用して、ひとりひとりの状況に合わせてケアに役立てるのは「ひと」の仕事です。いまや病院には褥瘡対策チームがありますが、在宅にはありません。チームを作り、それを強くする必要があります。それにはチームを構成する個々の力を上げて、チームプレイを磨いていかなければなりません。そのサポートの役割を、

私たちは担っていきたく考えています。



### 在宅協

さて、10 年の節目の年に、私たちは日本褥瘡学会と合流いたしました。今まで以上に日本褥瘡学会と連携を図り、充実した活動を展開していくつもりです。合流に伴って名称も、「日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会」と改めることになりました。今までは「推進協会」などと呼ばれることもありましたが、この名称の変化に伴い、「在宅協」と略することにいたしました。耳慣れないかも知れませんが、どうぞよろしくお願いいたします。



2017 年度全国会長 袋 秀平